平成 30 年 2 月

保護者・地域の皆様

川西市立明峰中学校
学校評議員一同

平成29年度 川西市立明峰中学校
『明峰中学校をよりよくするためのアンケート』による学校関係者評価

明峰中学校は、昨年に続いて『明峰中学校をよりよくするためのアンケート』を 11 月に実施されました。保護者の皆様には、ご多忙の中多くの方々にご協力をいただき、感謝申し上げます。頂戴いたしました様々なご意見につきましては先生方が目を通され、また 12 月の学校通信で校長先生がご質問やご意見に対して学校の考えや取り組みについて説明された内容の報告も受けました。ここでは、『アンケートの結果』についての学校評議員の評価を、合議により下記のとおりご報告いたします。

●●● 総 合 評 価 ●●●

1．評議員会は、昨年同様『学校の取り組みが生徒や保護者にどのように評価されているのか』を把握するために、アンケートを全生徒・全保護者・全教職員を対象に実施された「開かれた学校運営」に賛同します。アンケートの結果、95%の生徒・保護者が「安心して生活や学習に取り組める学校」と評価されている点や、全項目について肯定的評価が多い点は、明峰中学校の素晴らしいところと本当に感心します。また、今年度新たに「たがいを認め合い尊重し合えているか」「主体的に考え行動できているか」という評価項目が追加され、より生徒の状況を把握しようとされました。ただし、項目によって「（よく）あてはまる」の多少が見られ、「（あまり）あてはまらない」に示される否定的な評価が少なからず見られる項目があります。特に「いじめのない学校への取り組みについて」少数ですが「あてはまらない」があり、大変気がかりなところです。その原因をしっかり分析し、課題を明らかにして改善への努力を行っていってほしいと考えます。

2．全体的には、授業への取り組みや時間を守る意識、清掃活動について、95%の生徒・保護者が真面目に取り組めていると評価されています。生徒たちが落ち着いて規律ある生活や学習に取り組めていることが伺えます。また、行事や生徒会・委員会活動にも積極的に協力できていることも高く評価されています。多くの生徒が委員会や学級活動に真面目に取り組み、体育大会・学習発表会・合唱コンクールの行事でも団結して一生懸命頑張って充実感や達成感を感じられ、保護者もその姿を見られて評価されています。評議員会は、生徒の頑張りと先生方の真摯で丁寧な指導や支援があってこそだと評価します。日々の学校の取り組みや生徒の様子をホームページや通信で積極的に知らされていることも評価できます。

3．一方で、20人を超える生徒や保護者が『（あまり）安心して生活や学習に取り組めない』と答えています。『あいさつ』や『たがいの尊重』『主体性』については生徒の評価と保護者や先生の評価にずれが見られ、今後の課題と考えます。また、『わかりやすい授業づくりの工夫』『生徒理解への努力』『いじめのない学校への取り組み』『生徒や保護者が困っている時の誠意ある対応』などについては、昨年同様学校側の取り組みが生徒や保護者に十分伝わっていないなどの

課題が感じられました。自由記述の意見には、先生方の丁寧なかかわりや熱意ある取り組みを評価されている意見も多くありましたが、先生の生徒への言葉遣いや指導の仕方、分かりやすい・創意工夫ある授業づくり、学習の苦手な生徒への支援、見えにくいいじめの発見や対応、風紀規定、部活動のあり方について厳しい意見もありました。評議員会は、それらの意見を謙虚に受け止め、改善すべき点は真摯に努力していくこと、理解が得られていないことは丁寧に説明していく努力を心がけていくことを要望します。保護者におかれましても家庭教育の分野である、あいさつや礼儀、優しさや思いやりの心の育成、規則正しい生活や家庭学習の習慣化、いじめや嫌がらせをしない、スマホや携帯の管理やルール作りなどの指導に努めていただきたいと思います。また、学校や先生方だけでは解決できない困難な問題があることもご理解ください。

4．昨年そして今年のアンケートの結果を見ましても、校長先生をはじめとする先生方の並々ならぬ努力により、また保護者の皆様の理解により、明峰中学校における生徒たちの環境は大変良い状態に保たれていることが分かります。評議員会は、今後も教育目標の『自ら考え、確かな学力を身につけた生徒を育てる―高い知性―』『人の尊さがわかり、共に伸びる生徒を育てる―豊かな心―』『たくましい体力、気力をもった生徒を育てる―たくましい力―』の実現に向けて、先生方は学校教育において、保護者は家庭教育において、子どもたちに対して丁寧に、温かく関わり心の通う取り組みを大切に積み重ねて、「生きる力」を育んでいくことを強く望みます。

　そして、これまでの努力を継続し、より良き明峰中学校をつくっていくために、先生と保護者の連携、地域の協力が大切であると考えます。

【「明峰中学校をよりよくしていくためのアンケート」の生徒・保護者の集計結果】

■グラフの見方について

(1) グラフについて

　生徒15項目、保護者14項目についてアンケートを行いました。設問に対して、「よくあてはまる」「あてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4段階で評価していただきました。その結果を棒グラフに表しています。

(2) 評価について

　グラフの右側に、肯定的な評価（「よくあてはまる」「あてはまる」）の合計を基準として、S～Dの5段階の評価と達成率（%）で示しました。

　それぞれの評価の基準と意味は下の表のとおりです。

評価	評価基準（達成率）	意味
S	90%以上	優れている
A	80%以上　90%未満	良　好
B	70%以上　80%未満	おおむね良好
C	60%以上　70%未満	課題を明確にする必要がある
D	60%未満	教育活動を根本的に見直す必要がある

(3) 考察について

□の中に、生徒、保護者それぞれの評価結果からわかることや今後の課題など、学校が考察した内容を簡単に記載しています。